十三日夕刊

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 一行五十錢(指定廿錢增)
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

文藝

月に

山路 咲子

月は今よひも美しい光を
地上に投げて居る
おゝその神秘下界の阿漕
虚飾權勢
はかなき街の人々の頭上
をやさしくも
かぎりなき愛の光もて
凄艶なる其の美よ寂しくも
悲哀に沈む人々の心よ
フレッシュそのものゝ様な野の小さき螢にさへ
廢頽の姿を見出そうではないか
おゝ我らの母よなぎさの
われらに
美しの光をなげ掛け給へ

つれ／＼

山路 咲子

夕風にあはれやさしき星ふるよ
淋しき君の鐘にも似て
青々としげりすがしきよし原に
遠田の蛙きゝすましたり
夜汽車行きの後の靜けさ
いづくにか
かすかになくは初蛙かも

青柳の砂に沁ろゆく朝しづく
永久にかへらぬ君を思へり
雨はれて夕すがしき庭の面に
白き牡丹はかしやひにけり
胸ぬちのおさへかねたる苦しさに
はやくれよかし今日といふ日よ

平町田町
高久病院
電話五一三番

精神教育を主とせよ

鈴木光四郎

御覧の通り私は瘦せては居るが然し生きて居る様な氣持がする、生きて居ると談惑すれば老いもする、食ひもする、他人からぼかりなぐられると同甕となぐり返してやりたくなる、若し此の部屋から外に出てはいけないと制限されると無理にも出て見たくなる。

これは自然の人情であらう、此の人情は何人にもある然し此の人情こそは若人に最も多く與へられた天の恵ではあるまいか、

若人特に眞紅に燃ゆる學徒に對して此の制限外にまで出て新しい世界を建設する意氣がないとしたなら學徒としての吾々の生活は如何に淋しい果敢ないものであらう、

此處に一人の教育家が居て多くの青年の薫育に餘念ないと假定する、然るに此の教育家は青年の鬱勃たる意氣をして一つの制限を作り其の制限外に出づる事を禁ずるとすれば果して燃えて止まぬ青年の意氣は其の制限以内で滿足する事が出來るであらうか、

如何なる大雨の時でも設備の完備した所では河水が氾濫して家を流し人畜を拉し去る事實を回避するのは不可能だが設備の不完全な所では特に五月雨頃は大雨になつたかと思ふと河水は滔々と渦巻きながら水量を增すかと思ふ中に堤防を破壞し良田に奔滔する。人を流し、畜を流し、然し濁流が良田奔滔し人畜を拉し去るのは濁流の咎ではない濁流に破壞された堤防の咎である、否其の堤防を築いた人間自身の咎である若し人間が如何なる濁流をも破壞し得ぬ堤防を築くならば濁流は堤防を破壞する事なく悠々滔々と大海に注ぐに相違ない、

教育家の青年を薫育する場合も其の教育に要する制度が大にして且廣ければ如何に燃ゆる青年の意氣と雖も其の制限を破壞することは不可能だが之に反する場合は制限が破壞される

一國の法律施政に於ても又然り其の施政法律が壓制薄弱狹隘なる時は燃ゆる國民の意氣は其の施政法律を破壞して良田に奔滔する

畏れ多い話であるが明治大帝の大御心を以て成れる吾が帝國憲法第二章の臣民の權利義務に關する規定は施政、法律、して自由の精神を尊重して居る事を考へます、一度濁流が良田に奔滔すれば再び荒土を良田と化し如何なる濁流をも再び破壞し得ざる堤防を築くには多大の日月と勞力費用を投げ出さねばなるまい、然し斯くの如き勞力費用日月を要する事は豫想しても堤防に不滿足な時は自然に起り來る人情として其の堤防を破壞し去るのが常である之を革命と云ふのではあるまいか而して最も恐るべき事ではあるまいか、

良田に奔滔する濁流の如く革命は人間の心から必然に奔滔する學校制度に於て然りされど自分は現在の學校制度が狹隘壓制であると絶叫し其の制度を斷然破壞せよと煽動する者ではない、寧ろ此の制度内を流るる吾等の意氣思想の如何に微弱にして學校制度の根本に觸るるを得ぬかを憂ふるものである、何故吾々の意氣は昂らぬのであらうか、何故吾等の意氣は現在の教育制度の岸をさへ滿足に洗ひ得ぬのであらうか

諸君これは雨量が足りぬからではあるまいか、雨量とは何ぞやと云へば私はこれを指して思想の量と云ふ雨は地から上つて地に降る思想は吾等自身の研究に發して吾等自身の心に充つる完全なる思想滿ちて圓滿な個性揮發をし得るのである

然るに現在の教育制度に於ては學問の注入のみを主として完全なる思想の基礎となるべき精神教育の欠ける事を悲しく感ずるのである學校は會社に入る準備教育にしか思はれぬ

圓滿な思想なき人間は海鼠に等しいのである海鼠が學校を卒へ實社會に出でて一體何が出來やうか？然し思想の流に大小清濁長短のあるは地上の河川の清濁大小長短あると同じである、吾人はすべからく清流の悠々と流れて止まぬ大河の流れの如き圓滿なる思想を基礎として思想國難救濟の實を擧げねばならぬ、それには精神教育あるのみと思はれるのである。

明日の吉凶

舊暦五月二十七日　新暦七月十四日

▲一白 上下の意見取捨てゝ迷ふ日舊來の業は盛りに向ふ▲二黑 どこほりなく物事すら／＼と進む日但し口舌注意▲三碧 一時的は巨利を夢みるは凶常業の順調に進む▲四綠 來れる好運を取逃がさぬ樣油斷なくはげむべし▲五黄 奮起勉勵すべし引込ひ思案を守る時にあらず▲六白 位置高くして心の落付かざる日飲食も注意▲七赤 あせり心の生ずる日進むには十分注意すべし▲八白 願望成就する日人より持込まるゝ事利益化す▲九紫 運氣定まらず吉凶交々至るの日內に守るが安全

講談 閻に閃く男達

高田涙川作　尾崎雪鷹畫

139

喜内の悲憤

喜内は不審でならぬ

「御返答の御座らんはせがれ喜内は吉良邸に於て斬死でもいたしたるか斬死をする餘りの働きをしなければ忠義とは申されません、落命してもそれ迄のこと、詫かせ下さい、それとも御城代の御供をしていづれかへ參りましたか、これはしたり御返答のなきはお情けない……」

といふながら傍を見ると松の木によりかゝり疲れ休めをるは武林唯七であつた

「これは武林氏でござつたか伜とはどり分け睦まじくいたされた貴殿、夜前の御手柄無かしとお察し申します、ついては庄右エ門を御存じりませんか、伜は昨夜吉良邸に於て斬死でもいたしましたか武林氏、これはしたり唯七殿」

と武林の袖を引いて問ひかけた

「何をする汚らはしい汝等に手をかけられては斯く申す武林唯七の身体が汚れる犬侍め！サツサと行け」

唯七は喜内のとる袖を引き拂ひドンとついた、ヨロ／＼ツとよろめいたが幸にふみ止まる

「何といはつしやる武林氏汚らはしいとは誰人への言葉、犬侍とは誰を指して云はつしやる、年老いたる者を突き倒すとは不禮千萬、貴公も淺野家の家來なら伜とても淺野家の家臣、拙者も又同藩の者ではないか赤穗離散の時連判狀へ名前を記したその黨中にそれがしは老いくちなれば加はらねど伜は名前を記せし一人何汚はしい、アアその汚らワしいと申された一言その分には捨てたかれん、聞捨てには相成らん返答によつては小山田喜内そのまゝきはすましはせんぞ」

老人の喜内大いに腹を立た

「ウム汚らはしいと云ふわけきゝたくば聞かしてやるその方のせがれ庄右エ門はこの十三日に太夫の金百両と永正助定の一刀を盗んで逐電いたした」

「エーツなんとおつしやる伜庄右エ門が十三日百兩の金子と助定の一刀を盗んで

「何處へ逃げたか今以て行方が知れんぞコレ殿の御志しをついて吉良上野の首を討ちとられとせしもば五十餘名中には病死、又は止むを得ずして一味を脱したものあるも庄右エ門の如き愈ゝ仇討の間際に至つて逐電した様な人非人があらうかその儀は貴樣も知りながら泉岳寺へ引き揚げた一同がどう云ふ噂をいたしおるかしらつぱくれて見て來いと庄右エ門に云ひ付けられ來たのであらう、狸おやぢめ汚らワしいと云つたが無理かッ！」

「ウム、さては只今の仰せは眞實でござるか」

「嘘を吐く様な唯七ではない、エーうるさいサツサと行け」

又も腕に力をこめドンと突いた前のは左程ではなかつたが二度目のは唯七の力が充分に入つてゐたから喜内はドッと雪の中に倒れた黨中の者は唯七が例の短氣な手荒いことをすると思つたが誰一人としてこれをとめる者はない、喜内はやうく／＼にして雪の中にぴたりと座し頭を大地にすりつけ

「それは早や恐れ入つて御座る、伜が左様な心得違ひをいたし討入りの間際に至つて逐電いたせしとは知らず各々同様に天晴忠義をせりし喜内、今となつては一言の申譯も御座らんあんな奴はもう親子ではない武林氏何卒御勘辯下さる樣た目にかゝるも面目ない御城代へよろしくおとりなし下さる様……」

廣告

心配ご無用！
惡性頑固な慢性淋病も本邦の強烈な殺菌力で尿道ノ奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺しウミも痛みもケロリと治療す今すぐ御服用を……
淋病最新藥
トリックス
輕症用 一圓・二圓　重症用 三圓・五圓・十圓(五圓以上十二錢)
(說明書三錢郵券封入贈呈す)
平町五丁目角
特約店 山野邊藥局

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豊富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフエー幸樂
平町六丁目電五(三)九番

內科、小兒科 花柳病科
藤沼醫院
入院應需
平町紺屋町 電話平長五〇七番

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
平南町 松村病院 電話七〇一

健康體讃
蜂ブドー酒
人生の最大な歡喜は一家揃つて健康なることであります　美はしき皮膚の精彩と　魅力ある健康と美とを創造する蜂ブドー酒の食前常用は　人間生活を　ヨリ光明へ　ヨリ幸福へと導く唯一の捷徑であります……
「蜂印香竄葡萄酒」といふ名稱を　皆樣のお奨めにより　且つは時勢の推移に鑑み　今後「蜂ブドー酒」と改めます　どうぞ　引續き御愛飲を願ひます
株式會社 近藤利兵衛商店 東京 大阪

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり就けば社員が伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番 五四一番

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい
平町五丁目(釜屋横町)
須藤まつの

耳鼻咽喉科專門
入院隨時(自炊の便あり)
大和田醫院
平町南町(電一七〇番)

明日から戸數割の徴税令書を送達

馬鹿には出來ない お妾さんの納税額 今年度の特別税

平町今年の特別戸數割課税戸數四千六百三十二戸に對する課税額四萬七千六百六十九圓二十四錢の賦課割當額は過般の町會本會議の決定を見て以來平町税務課員が總動員で活動した結果愈十三日までに全部の終了を見たので愈々明十四日から全町に亘つて徴税令書を送達する事になつたが町當局は「打續く不況で徴税成績はどうかとも思はれますが過般の雜種税成績から觀て案外の好績を見せるかも知れないと豫想されます、どうせ一度は收めねばならない税金なのですから出來得るだけ速に納税して戴きたい、從來のやうに二三回宛の督促後でなければ納めないゞ言ふ事は惡るい習慣で督促を受ければ二十錢の督促料を徴收されるので其の負擔が加重される事になり平當局でも處理上頗る雜澁しますから右互の爲め出來得るだけ速に納税して戴きたい」云々と語つてゐた、尚前記四千六百三十二戸の課税戸數中約百戸を占めてゐる俗にお妾さんと呼ばれる階級の人達があるが氏の人達の大半は數年前までの好況時代から今日のドン底不況に急天直下船板塀に見越の松左扇で暮してゐたのも昔しの夢で大半はチマ〳〵した世帶を以つて表には針仕事とか賃仕事と言ふ樣な看板を掲げてゐる中には月五六圓の收入であつて不景氣で身動きも出來得ない樣な不甲斐ない旦那さんにあべこべに貢いでゐると言ふ樣なのもあり町税賦課に當つて町の吏員さん達が見立割決定の際には幾分の參酌をしたとは言ふが此等お妾け階級の納税額は可成の金高に達し平町財源の一を爲してゐる

坑内から失せる女坑夫

本郡だけで約二千

內務省の礦夫扶助規定決定 實施は五ケ年後

礦山に於ける一般勞働者の就業時間制限女子、年少者の深夜業禁止等が規定すべき礦夫扶助規則は此の程內務省社會局案の決定を見たが此の社會局案決定の結果十萬の炭礦勞働者を有する常磐炭界に於ける影響は非常なもので若該案が成立後に於いては從來內郷村磐城炭礦の六百九人小田坑の二百二十三人福島炭礦の百十人小田第二坑の百三十八人入山炭礦の二百七十八人其の他總數約二千餘の女子坑內勞働者が深夜業禁止に依つて夜間午後十時から午前十時まで此れを補ふ爲めに坑夫の增員を決行せねばならず炭礦會社は二重の人數を備はねばならない爲め住宅其の他の設備等の關係から制限のない男勞働者のみを使用する結果前記三千の女子勞働者は失職する事となり重大なる社會問題を惹起するが坑內女子勞働者の多くは夫、親など後山勞働に從事し極めて家族的なものである隨つてその間精神的慰安ともなれば危險防止にも多大の力があつたものであるもしこの女子の坑內勞働禁止が實現された曉杞憂か否かは知らねど逐次殺伐な氣分が濃厚になるではあるまいかとの懸念もある勿論これら法規の實施には五ケ年間の猶豫期間があるから早急行はれる譯でもなくその間種々對策が講せらるゝであらうと觀られてる

愈々雄姿を現す 軍艦五十鈴

明日未明小名濱頭に 各方面からの參觀人で 小名空前の賑か

海軍簡閲點呼の爲めの小名濱港に來航と決定した軍艦五十鈴は愈々明十四日未明灣の外に其の雄姿を現はし午前七時入港投錨するが當日は小名濱町主催の歡迎會を海岸に於いて盛大に擧行する外午前九時から午後四時までの間は一般の觀覽を許す筈で既に郡下各學校官公署等から多數の團体見學の申込あり遠くは福島郡山等の中通り方面からも參觀者多數に達する見込みで小名濱町は近來の人出を豫想されてゐるが同日午前九時から平町在郷軍人分會主催の軍樂隊演奏は既報の通り磐女校庭苑に平劇場の兩所に於いて公開される筈で此れまた非常の盛會を豫想されてゐる尚五十鈴艦は十四日夜は同港に碇泊十五日午前八時から平、植田、四倉富岡、浪江、中村、原町の濱三郡全署管內の海軍簡閲點呼を艦上に於い擧行同午後一時から午後四時まで一般の參觀を許可し同日午後六時愈々宮城縣女川港に向かつて拔錨出帆するが同艦其後の行動の行動は宮城、岩手、青森、秋田、山形、新潟の各縣を巡航の上横須賀港に歸港の豫定であると

上小川の 駒糶

一頭平均額 約九十二圓

石城産馬畜産組合の二歳駒糶は九、十の兩日石城郡上小川村馬市場に開場糶馬は三十七頭價格三千三百九十六圓で一頭平均九十一圓七十八錢である成績優秀な駒に對しては左の如く等級を附し賞品を授與し

▲一等雜種牡(吉號)吉田米吉▲二等牡(青號)吉田米吉▲三等牡(相木號)吉田源平▲四等牡(賓號)吉田源平▲五等牡(櫻號)草野宙吉

「戀は盲目」 田口商店に入荷

ファイトとヤニングスの喜劇

帝キネ映畫「淺香三四郎」

ドイツのウファ映畫ロタール・メンデス監督コンラッド・ファイト、リルダゴヴア、エミル・ヤニングス主演喜劇「戀は盲目」(假名)が田口商店に入荷した、ザイター・レオン原作の名舞台喜劇をロバート・リーブマンが脚色しウェルナー・ブランデスが撮影したものである、ドイツ映畫界の大立物ファイトとヤニングスの二人が然かも喜劇に共演して居る上に同映畫はウファ社のバベルスベルグの撮影所を背景としヤニングスの樂屋や日常のスタヂオ生活等も取り入れてあるからファンの興味は一層深いものがあるであらう。

「身を焦がして」 封切

フォックス映畫ジョングリフイスレイ監督ブランチスウヰート主演「身を焦がして」は育ちは賤しいが純情を持つ酒場の女の愛を描ける映畫であると。

斬新な「受難」 帝キネの試み

帝キネの石山稔監督が內田政雄撮影で明石緑郎、東良之助、淺野節、久野あかれ共演で「受難」を完成した、これは石山監督が新時代映畫と銘を打つたものでかつて大好評を博した日活の伊藤大輔監督大河內傳次郎主演「血煙高田馬場」と似た監督手法を使つたものである。

松竹映畫「鐵の處女」の松月千枝子

松浦築枝後援會

マキノのスター松浦築枝後援會が生れた、會費一ケ月五十錢、入會者は本所區中之郷原庭町七松浦築枝後援みやこ會鈴木鶴吉宛。

平署管內だけで 毎日二百圓が灰

恐ろしい火炎の 上半期統計

平警察署管內の平町外三町十八ケ村に於ける今年一月から六月までの上半期中數字の上に現はれた火災數は十一件で此れを原因別にすれば一件失火十件即ち一ケ月平均二件弱であるが此れを前年の上半期に比せば殆んど半數にも達してゐない更に此等火災の月別を見れば一月四件二月一件三月六件四、五、六の三ケ月は無火災と言ふ狀態で依然火災シーズンである一月から三月までの冬期に火災の多い事を裏書してゐる損害の方面から見て住家の全燒十三戸半燒一戸總建坪二百六十坪非住家十九戸百十坪見積り總額三萬三千百四十四圓三十六錢と言ふ巨額に達して居り一日平均約百八十五圓餘が灰になつた計算で火災の災害が如何に恐ろしいかが肯れる、此れに就いて猪狩署長

「今年上半期は比較的火災が少かつた此れは一般の防火思想が普及された結果で喜ばしい現象である然し災害に依る見積額が一日平均約百八十五圓に達してゐる事を考へればまだ〳〵防火思想が完全に普及されてゐないのではないかとも想はれる今後は一般でも充分注意して防火に努めて欲しい先す煙突の掃除殘火段灰の始末煙草の火の留意其の他全ゆる出火の原因ともなるべき火に對す注意を爲して欲しい」云々と語つてゐた

愈々解決した 在仙臺の鄉友會

伏見町長等の活動で 登記一切を濟ます

過般財團法人の設立認可を見た仙臺市の石城鄉友會を縣有から移管する爲め平町長伏見彦衞、泉村長中村立躬、前赤井村長若松美三の三委員は十日出福縣當局と打合せの上十一日仙臺區裁判所登記所に出頭鄉友會所有財産の移管其の他一切の登記を濟ませて昨十二日歸郡したが伏見平町長は

「一昨年來の問題となつてゐた鄉友會問題も愈々登記を濟まして全く解決致しました直ちに若松市の財團法人設立準備にかかるのですが仙臺鄉友會所有財産の處分後でなければ着手出來ません何にしろ近く仙臺、若松兩市に鄉友會が設置されば本郡出身の在營軍人の爲め誠に喜ばしい事であります」云々と語つてゐた

入山ご丸茨 野球戰

十五日午後 磐中グランドで

入山炭礦野球部では來る十五日午後二時から茨城縣多賀郡茨城無煙炭礦野球部を迎ね平町磐中グランドに於いて野球試合を擧行すると

涼を趁ふ人群に 期節的な犯罪

何んと言つても性的犯罪が 一番多い

酷暑を逃れて海岸や山に流れ出る人の數が日增しに多くなつて行く晝間は工場や或は會社或は官廳等に働らいてゐる人達の疲れを慰め凉を趁ふて散策する沿衣着の人達の群れが三丁目角の夜店街或は公園や鎌田橋畔等に逐日その數を增してゐる此の涼を趁ふ人人の中に混んじてこうした時期にのみ限られた幾多の犯罪が醸されるので平署では過般來私服警官を市內の各所に配置して極力此れが防止に努めてゐるが例年最も多いのは何んと言つても風紀事件で此れは東京其の他の方面に勉學中の男女學生連が暑中休暇で歸省してゐる事と若い娘さんが挑發的な薄物を纏つて不良性の青少年なぞを刺撃する事が原因で暑さが愈々きびしくなるに連れて平町地方は毎夜のやうに夏祭が連續する此れから九月頃にかけて娘もつ親の注意が肝心である

花柳病豫防法は 九月一日から實施

平署では全管內に 趣旨の徹底を計る

各方面に非常な興味をもつてみられてゐた花柳病豫防法案は昨年四月五日公布の儘實施されずにゐたゝめに政爭の具に供せられたとか種々の疑雲に包まれてゐたが今回いよ〳〵九月一日からその一部即同法第一條第四條乃至第八條及び附則第二項の規定を施行し第二條即ち地方公共團體に診療所を設置する及第三條の規定は同法第四條の規定の施行に必要なる範圍に於いて同日より之を施行する事になつた、而してこのうち主なる條項は

一、傳染の恐れある花柳病に罹れる事を知りて賣淫をなしたるものは三月以下の懲役に處す

一、花柳病に罹りし事を知り又は知るべくして賣淫の媒介又は容止をなしたるものは六月以下の懲役又は五百圓以下の罰金に處す

一、前二項の場合に於て傳染防止に付相當の方法を講じたるものはその刑を減刑す

一、醫師傳染の恐れある花柳病に罹れるものを診斷したる時は傳染の危險及傳染防止の方法を指示すべし

等であるが此れに就いて平署では醫師として患者が診療に來た場合は詳細に豫防法治療法その他を指示することになつてゐるのみで決して患者の氏名を當局に屆出るやうなことは規定されてゐないから罹病の場合は直に醫師の診療を求め指示に從ふ事が肝要である、なほ同法案實施については各府縣共に官民關係者一致協力して娼妓藝妓酌婦等の接客業者等に對して映畫に講演にあらゆる方法を講じて如何に花柳病の害毒の怖いものであるかを一般に知らしめる筈である

今日の溫度ご 明日の天候

小名測候所發表

本日正午の溫度は七十六度五分明日は南東の風晴れ一時曇り愈々明日から夏らしくむし暑くなる見込

巡查練習生 見學

平警察署ご 明日入港の軍艦を

本縣巡查練習所練習生二十一名は阿久津助教官引率の下に今十三日午後三時來平し平署其の他を見學一泊の上明十四日小名濱に至り築港及明日同港に投錨する軍艦五十鈴の見學を爲す筈である

鮮人坑夫 生命危篤

炭車に首を 狹まれて

當磐崎村大字藤原三井炭礦長屋居住朝鮮慶尙北道生れ坑夫李此文(四〇)は昨十二日午前四時頃同じく鮮人坑夫朴泰文(二七)と共に入坑炭車押作業に從事中第一本線右九坑道に差掛つた際炭車が脫線したので車輪を押上げ其のまま車側に居たため朴泰文にされた炭車と坑壁の間に頭部を狹まれて昏倒直ちに坑外病院に舁ぎ込み應急加療中であるが生命危篤である

一齊に斷行した 礦業税滯納處分

不況に祟られた小炭礦 今や經營困難に陷る

近年の炭況不振になやませられてゐる石城地方では今や常磐屈指の大會社すら往々經營困難の憂目に逢つてゐる有様この傾向は需要薄の昨今において一層深刻なるものあつて個人經營の小炭礦等における慘狀まことに氣の毒なものあるがこれがため四月までに納付すべき鑛業税を滯納せるもの十數件税額三萬餘圓に達したので平税務署においては最近一齊に鑛區の差押へ處分を斷行し極力その納入を督勵してゐるが當面の納税に對して如何とも方法のつかぬ向もあるらしくこれが整理については當局でも頭痛鉢卷の体である

文藝原稿募集

△創作、戲曲、詩、和歌、俳句其の他文藝作品を募集す

規定

十二字詰三百行以內

磐城新聞社

渡邊中村兩君の 送別會

在平記者團が

福島新聞平支局渡邊文、いはらき新聞平支局中村謙藏の兩君は各れも今般本社詰に榮轉と決定不日赴任する筈であるが在平記者團は今夕午後六時から公園尼子亭に於いて兩君送別の宴を張る事となつたが猪狩署長以下横地高等主任其の他の參加ある筈

此れから多い 急性中耳炎

慢性になつては大變 高久院長談

中耳炎は春夏秋冬何れの期節にも多い病氣である。中耳炎には急性の二種がある急性の中耳炎が慢性の中耳炎となる場合が多い。その原因はおもに

感冒のために

鼻孔および咽喉の上部の病氣から起る。その他の急性の傳染病エンフレエンザ、百日咳、肺炎その他の病氣から起こるが常節は水泳によつておこることが多い、

急性の病狀はおもに耳內の疼痛である。この疼痛は非常に強い場合もあり弱い場合もあるが、咳又は嚥下運動によつて疼痛が増加する。一般に耳が遠くなり、耳內がふさかつたやうな感じが起り、その他頭痛が起つて發熱に達することあり加ふるに嘔吐あり、うはごと、めまひ、痙れん等があつて

腦膜炎の症狀

を呈する、斯樣に往々にして他の病氣と間違へられ、不注意の母親は感冒に罹つたものと放棄して一週間後膿が出てくるに及び初めて氣のつくやうな時が多いあるのでそうなれば餘程重病であるから注意しなければならぬ。或は顏面神經痲痺所謂面中氣のやうな症狀を呈することもあり、又多くの場合は鼓膜にあながあいて、膿を排出し、それを放棄すれば慢性の化膿性中耳炎となる。その療法は精神及ぶ肉體を安靜にし、消化しやすい食物を採り、大小なれば酒及煙草を禁せねばならぬ局部には溫療法でゐよろしい、そして速かに

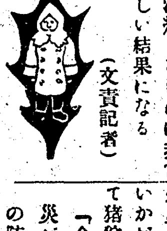
專門醫の治療

を求めなければならぬ、この病氣の恐ろしいことは顏面神經を痲痺させたり、腦の中に膿が入り膿やうをつくる或ひは腦毒症を起して生命に危險がある、この樣な時には速かに醫師の治療をまたねばならぬ。素人は膿が止まると病氣が直り治癒したものと思ひ、粘慢質、藥を入れたり、粉藥を散布したり、甚だしい時には蜂蜜を入てあなを塞ぎ、外見上なほつた樣に喜んでゐる人もあるが、その實腦の內部にある排出すべき膿の排泄が止まり非常に危險である、此樣なのは決して合理的治療ではない靜かに自然の治癒を俟たねばならぬ

尚子供の外出の時殊に塵埃の多い郡會生活者及咽喉の弱い人は硼酸水又はオキシフルでよく

含嗽する習慣

をつけるのが肝要である、なほこの病氣になつて鼻をかむと乳嘴突起(耳の後の骨のある處が高く膨れる)といふ恐ろしい病氣になるからこれは絶對に注意せねばならぬ。慢性になると仲々治癒し難いから急性のうち手早く而も細心の注意を拂つて治療しなければ非常に恐ろしい結果になる



(文責記者)